

令和4年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科 1年 A・B・C組
教科書	高等学校標準言語文化（第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版） 担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	日本文学編－近現代	小説を読む（一） 「とんかつ」三浦哲郎	謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
5	日本文学編－古文	古文入門 古文の学習 「兄のそら寝」宇治拾遺物語	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 古典の文章になれるとともに、現代に通ずる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
	漢文学編	漢文入門 漢文の学習 訓読に親しむ（一）～（三）	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点や助字、再読文字の使い方方を習得する。	漢文の構造、返り点の種類等を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
		中間考査		
6	日本文学編－近現代	小説を読む（三） 「鏡」宮下奈都	「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
	日本文学編－古文	古文に親しむ 「なよ竹のかぐや姫」竹取物語	現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
7	漢文学編	故事成語 「五十歩百歩」孟子	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	書き下し文を作れるようになっているか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
		期末考査		

9	日本文学編－近現代	小説を読む（二） 「羅生門」芥川龍之介	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
10	日本文学編－古文	古文に親しむ 「絵仏師良秀」宇治拾遺物語	古文における人物造形のおもしろさを読み味わい、古文の世界への親しみを深める。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
	漢文学編	故事成語 「矛盾」韓非子 中間考査	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	書き下し文を作れるようになっていないか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
11	日本文学編－近現代	小説を読む（一） 「よるこびの歌」宮下奈都	「私」と周囲との意識のずれが何かから生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
	日本文学編－古文	随筆を読む（一） 「枕草子」清少納言	自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
12	漢文学編	故事成語 「蛇足」戦国策 期末考査	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	書き下し文を作れるようになっていないか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
1	日本文学編－近現代	小説を読む（三） 「夢十夜」夏目漱石	「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
2	漢文学編	故事成語 「鶏口牛後」十八史略	戦国時代を背景とした各国の状況を知るとともに、蘇秦の言葉が諸侯を動かした理由を理解する。	書き下し文を作れるようになっていないか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

毎時間の板書内容のノートへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート提出及び点検があるので、それに備えておく。常用漢字テストではできるだけ得点を重ねられるよう、事前学習を確実にする。プリントや課題の提出をおろそかにしない。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。

令和4年度 地理歴史・公民科「公共」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全科 1年 A組～C組
教科書	公共（実教出版）	副教材等	担当者による自作プリント

1 学習の到達目

- ・ 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ・ よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	[公共の扉] 社会を作る私たち	青年期とは 自己形成の課題 職業生活と社会参加 伝統・文化と私たち 古代ギリシアの人間観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人生における青年期の意義・特徴を理解する。 ・ 青年期の発達課題を理解する。 ・ 働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ・ 日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。 ・ 理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 	[知識・技能] 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
5	人間としてよく生 きる	科学と人間 自由の実現 社会を作る人間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代ヨーロッパで生まれた、科学的思考を理解する。 ・ 自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・ 社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。 	[思考・判断・ 表現] 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
6	他者とともに生き る	人間と幸福 公正な社会をめざし て 中間考査 人間の尊厳と平等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 功利主義の考え方を理解する。 ・ 社会の公正なあり方について思索したロールズとセンの主張を理解する。 	[主体的に学習 に取り組む態 度] 活動の様子の観 察、レポート、 口頭発表など
7	民主社会の倫理	自由・権利と責任・義 務 民主政治の成立 民主政治の基本原 理 民主政治のしくみと 課題 世界の主な政治制 度 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本 的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別や偏見を是正するための取り組みやその背景にある考え方を理解する。 ・ 民主政治の誕生と発展について理解する。 ・ 法の支配の考え方について理解する。 ・ 民主政治の意義と課題について理解する。 ・ 議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。 ・ 日本国憲法の成立の経過について理解する。 ・ 日本国憲法の基本原則について理解する。 	[主体的に学習 に取り組む態 度] 活動の様子の観 察、レポート、 口頭発表など
7	[よりよい社会の 形成に参加する私 たち] 日本国憲法の基本 的性格	自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求 権 新しい人権 人権の広がりと公共 の福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由権の内容について理解する。 ・ 平等権の内容について理解する。 ・ 社会権の内容について理解する。 ・ 新しい人権について理解する。 ・ 公共の福祉について理解する。 	
9	日本の政治機構と 政治参加	平和主義とわが国の 安全 こんにちの防衛問題 政治機構と国会 行政権と行政機能の 拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・ こんにちの安全保障政策の課題について理解する。 ・ 国会の役割や権限について理解する。 ・ 内閣の権限と議院内閣制について理解する。 ・ 司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・ 地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・ 日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・ 日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 	

<p>10</p>	<p>[現代の経済社会と国民生活] 現代の経済社会</p>	<p>世論と政治参加 選挙権を行使するために 経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場のしくみ／市場の失敗 現代の企業 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。 ・企業の役割と社会的責任について考える。 ・NI から三面等価の原則について考える。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考える。 ・様々な金融商品を活用した資産運用に伴うリスクとリターンなどについて考える。 	<p>[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[思考・判断・表現] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p>
<p>11</p>	<p>日本経済の特質と国民生活</p>	<p>日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題 戦後日本経済の成長と課題 転機に立つ日本経済 経済社会の変化と中小企業 農業と食料問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の持つ様々な役割について考える。 ・納税者としての立場から租税の在り方について考える。 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。 ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 ・社会とのかかわりに着目して、これからの中小企業の姿を考える ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 	<p>[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など</p>
<p>12</p>		<p>消費者問題 公害の防止と環境保全 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考える ・経済成長と公害問題との関係を考える。 ・法制度の整備のほか、私たち消費者の行動について考える。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。 ・日本の雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・諸外国の制度との比較も含めて考える。 ・少子高齢化が進行する中で、財源と対象を検討する。 	
<p>1 2 3</p>	<p>[国際社会と人類の課題] 国際政治の動向と課題 [国際経済の動向と課題]</p>	<p>国際社会と国際法 国際連合と国際強力 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と見本の役割 戦後の国際経済 法と貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第二次世界大戦後の国際経済 地域的経済統合の進展 国際経済のつながりと課題 発展途上国の諸課題と日本の役割 SDGs にむけて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内政治や国内法との比較で考える。 ・主要機関や専門機関の働きから考える。とくに安保理改革を材料に考える。 ・対立構造の変容から、国際社会の力学の変化を考える。 ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。 ・とくにアジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。 ・人間の安全保障の観点から考える。 ・比較生産費説を検討して考える。 ・貿易収支の数値から一国の貿易の動向を確認する。 ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。 ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や、二国間交渉への傾倒などから課題を考える。 ・多角主義の原則から二国間協定への流れ、さらにメガ FTA の挑戦といった過程を確認する。 ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果、世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 ・金融危機などの影響もグローバル化し、富の偏在も世界規模に拡大したことを確認する。 ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して考える。 ・ODA から SDGs につらなる援助と開発の過程について確認する。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。 	<p>[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[思考・判断・表現] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など</p>

3 評価の観点

知識・技能	現代の初回代を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や論理について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の現実を視野に、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

4 評価の方法

小テスト、定期考査、準拠演習ノートなど
定期考査、レポート、ノート、準拠演習ノートなど
活動の様子を観察、レポート、口頭発表など

5 担当者からのメッセージ

ルールを守って授業に参加することが重要である。これから社会の一員として生活していくために、世の中の状況を的確に把握し、判断を下すことができる知識・技能や、よりよい生活を目指す意欲を身につけられるようにしよう。

令和4年度 数学科「数学Ⅰ」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科 1年A・B・C組
教科書	数学Ⅰ（実教出版）	副教材等	担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 数と式	数の四則演算 1節 整式 ①文字を使った式の決まり	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算を理解する。 ・文字式のきまりを理解する。 ・文字式のきまりに従って、式の表し方を学ぶ。 	行動観察 定期考査
5		②整式	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の意味を理解する。 ・単項式の次数と係数、多項式の次数と定数項を理解する。 ・同類項を計算し、整式を整理する。 ・分配法則を理解する。 	
		③整式の加法・減法	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法・減法の計算方法を理解する。 	
		④整式の乗法	<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則を理解する。 ・整式の乗法の計算方法を理解する。 	
		中間考査		
6		⑤乗法公式による展開	<ul style="list-style-type: none"> ・展開公式を理解し、計算を行う。 ・乗法公式を利用し、工夫して展開をする。 	行動観察 定期考査
		⑥因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・共通な因数を取り出し、因数分解をする。 ・因数分解の公式を利用し、因数分解をする。 ・式の一部を文字に置き換え、因数分解の公式を利用して因数分解をする。 	
	2節 実数 ①平方根とその計算	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根の意味を理解する。 ・根号を含む式の計算を行う。 ・分母の有理化について理解し、基本的な計算を行う。 		
7		期末考査		
9		②実数	<ul style="list-style-type: none"> ・整数・有理数・無理数・自然数の意味や実数について理解する。 ・有限小数や循環小数を分数で表す。 	行動観察 定期考査

10		3節 方程式と不等式 ①1次方程式 ②不等式 ③不等式の性質 ④1次不等式 ⑤連立不等式 ⑥不等式の利用 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・分数を有限小数・循環小数で表す。 ・1次方程式を解く。 ・不等式の意味を理解し、数量の間の大小関係を不等式で表す。 ・不等式の範囲を数直線上に図示する。 ・不等式の性質を理解する。 ・1次不等式を解く。 ・連立方程式を解く。 ・連立不等式を解く。 ・数直線を活用した解法とその意味を理解する。 ・不等式を利用して、身近な問題を解く。 	行動観察 定期考査
11	4章 集合と論証	1節 集合と論証 ①集合と要素 ②命題 ③いろいろな証明法 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の意味と要素を理解する。 ・部分集合・全体集合と補集合、共通部分と和集合・空集合について理解する。 ・集合に関する記号の意味を理解し、適切に使う。 ・集合の要素の個数を求める。 ・命題の定義を学び、真偽を判断する。 ・命題の逆を作り、それらの真偽を判断する。 ・必要条件と十分条件の定義を学ぶ。 	行動観察 定期考査
12		1節 関数とグラフ ①1次関数とそのグラフ 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・$y=ax$ のグラフの書き方を学ぶ。 ・$y=ax+b$ のグラフの書き方を学ぶ。 ・1次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて、最大値や最小値を求める。 ・1次関数のグラフについて、与えられた条件から、その1次関数を決定する。 	行動観察 定期考査

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

数学は論理的思考の学問です。数が計算によって変化する場合そこには必ず理由があります。単純に計算するだけでなく、その理由にまで思考を広げて理解を深めることで、数学は面白くなります。

令和4年度 理科「科学と人間生活」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	科学と人間生活（数研出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	序編 科学技術の発展	人間生活の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展に伴って、人間生活がどのように変化したかを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応
5	第1編 物質の科学	材料とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな金属が人間の生活を支えていることを知る。 ・身近な金属を例にして、金属の種類と用途、製造法について学ぶ。 ・プラスチックの種類、性質、および用途について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・中間考査
		中間考査		
6	第2編 生命の科学	ヒトの生命現象	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の再利用を、ガラス、金属、プラスチックを例にして理解する。 ・タンパク質と遺伝子の関係について学ぶ。 ・ホルモンの作用による血糖濃度の調節について学ぶ。 ・抗体による生体防御について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・期末考査
7		期末考査		
9		微生物とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・光の情報によって視覚が生じ、体内時計に影響を与えることを理解する。 ・身のまわりにさまざまな微生物が存在することを知る。 ・微生物に関わる一連の科学史を学ぶ。 ・微生物が発酵によって人間に有用な物質を産することを学ぶ。 ・微生物に対する研究が、医薬品などの有用物質の生産に役立っていることを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・中間考査
10		中間考査		
11	第4編 地球や宇宙の科学	自然景観と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系における微生物のはたらきや役割について学ぶ。 ・地球表層を動くプレートについて学ぶ。 ・地震発生のしくみ、地震活動、地震による災害について学ぶ。 ・火山噴火のしくみを学ぶ。 ・火山は火山災害を引き起こす反面、温泉などの恩恵があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・期末考査
12		期末考査		

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1			・岩石の風化、河川のつくり出す景観、また土砂災害について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・学年末考査
2		太陽と地球	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季における気象現象および気象災害について理解する。 ・大気の運動と気象現象の関係を学ぶ。 ・太陽からの放射エネルギーと地球の関係について学ぶ。また、太陽について知る。 ・太陽、月などの天体の運動を学び、あわせて天体の運動と潮汐の関係を理解する。 	
3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現および主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・授業に積極的に参加し、有意義なものにしてください。
- ・ノートをつくり、ノートをしっかりととること。
- ・ノート、課題などの提出物は、きちんと仕上げ、確実に提出すること。
- ・復習し、基本事項をしっかりと定着させてください。

令和4年度 理科「科学と人間生活」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	自動車科 1年B組, 情報処理科 1年C組
教科書	科学と人間生活 (数研出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	序編 科学技術の発展	人間生活の歴史	・科学技術の発展に伴って、人間生活がどのように変化したかを学ぶ。	・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応
5	第1編 物質の科学	材料とその再利用	・いろいろな金属が人間の生活を支えていることを知る。 ・身近な金属を例にして、金属の種類と用途、製造法について学ぶ。	・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・中間考査
6		中間考査		
7		期末考査	・プラスチックの種類、性質、および用途について学ぶ。 ・資源の再利用を、ガラス、金属、プラスチックを例にして理解する。	・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・期末考査
9	第2編 生命の科学	微生物とその利用	・身のまわりにさまざまな微生物が存在することを知る。 ・微生物に関わる一連の科学史を学ぶ。	・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応
10		中間考査	・微生物が発酵によって人間に有用な物質を産することを学ぶ。 ・微生物に対する研究が、医薬品などの有用物質の生産に役立っていることを学ぶ。	・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・中間考査
11	第4編 地球や宇宙の科学	自然景観と自然災害	・生態系における微生物のはたらきや役割について学ぶ。 ・地球表層を動くプレートについて学ぶ。	・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応
12		期末考査	・地震発生のしくみ、地震活動、地震による災害について学ぶ。	・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・期末考査

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1			・火山噴火のしくみを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業への取り組み ・発問に対する対応 ・ノート ・ワークシート ・提出物 ・小テスト ・学年末考査
2			・火山は火山災害を引き起こす反面、温泉などの恩恵があることを理解する。	
3		学年末考査	・岩石の風化、河川のつくり出す景観、また土砂災害について理解する。	

3 評価の観点

知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現および主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・授業に積極的に参加し、有意義なものにしてください。
- ・ノートをつくり、ノートをしっかりととること。
- ・ノート、課題などの提出物は、きちんと仕上げ、確実に提出すること。
- ・復習し、基本事項をしっかりと定着させてください。

令和4年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	全学科 1年 A・B・C組
教科書		副教材等	

1 学習の到達目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通して自分や仲間の中からだや心の状態に気づき、からだの調子を整えたり、仲間と楽しく交流する。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
5	選択①・② 器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、技が円滑にできるようにする。互いに協力したり補助したりし、計画的な練習や発表の仕方の工夫ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・学習カードの内容 ・技能テストや記録会
6	陸上競技	短距離走・リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	
7	ダンス	創作ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通して、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現することや、個性を生かした簡単な作品にまとめて踊ることができるようにする。 	
9	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展 1. スポーツの歴史的発展と多様な変化 2. 現代のスポーツの意義や価値	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解を深める。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
10	選択③・④ 球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・学習カードの内容 ・技能テストや記録会
11		バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	
		ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする 	

1 2	武道	柔道	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
1	陸上競技	長距離走	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
2	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること、また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解を深める。 スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 プリント、課題の内容・提出状況
3		3. スポーツの経済的効果と高潔さ 4. スポーツが環境や社会にもたらす影響		

3 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
評価項目（授業態度・発問評価・学習カードや課題プリントの内容・技能テストや記録会の状況等）

5 担当者からのメッセージ

- ・体育にとって必要なことは、基礎的な知識、技能のもとに意欲をもってスポーツを実践することです。体力の向上を目指し、日頃の運動の実践に心がけましょう。
- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけてください。
- ・授業はチャイムと同時に開始しますので、活動場所への移動は休み時間の内に完了するようにしてください。また、授業見学は授業担当者に申し出て指示を受けてください。
- ・貴重品の管理をしっかり行い、授業に関係のないものは持ち込まないようにしてください。
- ・体育は実技を行う授業ですので、怪我等の安全には十分留意してください。また、装飾品は絶対に身に付けてください。
- ・体育科として、持久走（長距離走）への取り組み方を重視しています。決められた回数を走りきるようにしてください。

令和4年度 保健体育科「保健」シラバス

単位数	1単位	学科・学年・学級	全学科 1年 A・B・C組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方について理解する。 ・健康を成り立たせている要因について理解する。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について理解する。 ・わが国の現在の健康問題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・定期考査 ・プリント課題の内容提出状況
5		2 私たちの健康のすがた		
6		3 生活習慣病の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の種類と要因について理解する。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について理解する。 	
7		4 がんの原因と予防		
7		5 がんの治療と回復		
7		6 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と運動の関係について理解する。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて理解する。 	
7		7 食事と健康		
7		8 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食事のとり方について理解する。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について理解する。 	
7	期末考査 答案返却			
9	現代社会と健康	9 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解する。 ・喫煙対策について、個人と社会について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・定期考査 ・プリント課題の内容提出状況
10		10 飲酒と健康		
10		11 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について理解する。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する。 	
10		12 精神疾患の特徴		
10		13 精神疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策を理解する。 ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について理解する。 ・現代社会における精神保健の課題を理解する。 	
10		14 精神疾患からの回復		
10		15 現代の感染症		
10	16 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を予防する方法について理解する。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて理解する。 ・精神疾患の治療について理解する。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か理解する。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて理解する。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ理解する。 ・感染症の予防対策について3原則から理化する。 ・感染症への個人と社会の対策について理解する。 		

1 1		17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について理解する。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会について理解する。 ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について理解する。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について理解する。 ・社会環境の健康への影響について理解する。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について理解する。 	
1 2		期末考査 答案返却		
1	安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の実態と被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて理解する。 ・安全のために必要な個人の行動について理解する。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について理解する。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解する。 ・交通事故における責任を3つに分けて理解する。 ・応急手当の意義について理解する。 ・傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・定期考査 ・プリント、課題の内容・提出状況
2		4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について理解する。 ・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について理解する。 ・実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。 	
3		期末考査 答案返却		

3 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、応急手当及び AED を用いた心肺蘇生法については実習を通して理解し技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

評価項目（授業態度・発問評価・定期考査・プリント、課題の内容・提出状況等）

5 担当者からのメッセージ

- ・1時間、1時間の授業を大切に集中して授業を受けることが大切です。
- ・授業で先生の「説明を聞く」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められます。
- ・教科書と保健体育ノートは毎時間必ず準備してください。
- ・授業はチャイムと同時に始まりますので、休み時間中に授業に必要なものを準備して着席を完了してください。

令和4年度 芸術科「音楽Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	1年A・B・C組
教科書	MOUSAI (教育芸術出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽分文化幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音源表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	歌唱	校歌	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の歌詞の意味を考えながら、自校の歴史等に思いをはかる。 ・初歩の発音練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実力テスト ・主体的な関わり
	楽典	音名	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の成り立ちを歴史的、地理的背景を踏まえながら学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト
5	楽典	音部記号 グレゴリオ聖歌	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の成り立ちを学ぶ。 ・西洋音楽の起源を考え、キリスト教の音楽を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・感想文提出
6	歌唱	カーロミオベン	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な発声を学び、美しい声で歌い、イタリア語になじむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト
	歌唱	野ばら 魔王	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語とイタリア語の聞こえ方、歌い方の違いを学ぶとともに、ドイツリートについて学び、世界観を養う。 ・シューベルトの「魔王」を鑑賞し、リートの特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な関わり ・感想文提出
7	楽典	拍子・音符	<ul style="list-style-type: none"> ・単純拍子、複合拍子、混合拍子を知る。混合拍子の代表的な曲として、ホルストの「惑星」を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想文提出
9	ギター	1～3弦きらきら星	<ul style="list-style-type: none"> ・3フレットまでで引ける簡単なメロディーを弾く。アポヤントとアルアイレの弾き方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な関わり
	楽典	全音と半音 音程	<ul style="list-style-type: none"> ・音階の仕組みを知る。 ・コードの元となる音程を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・小テスト
10	ギター	1～6弦キラキラ星 アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレミファソラシドの音階の弾き方を学ぶ。キラキラ星でメロディーパートと伴奏パートに分かれ、アンサンブルを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な関わり ・発表
	アンサンブル	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・班を作り、キラキラ星でのアンサンブルを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト
11	楽典	三和音	<ul style="list-style-type: none"> ・コードの仕組みを学び、再度アメリカ音名を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト
	ギター	コード 夢の中へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターコードを覚え、ダウンストローク、アップストロークの弾き方を学ぶ。 ・「夢の中へ」のコード進行を覚え伴奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な関わり ・発表
12	ギター・歌唱	キラキラ星弾き語り	<ul style="list-style-type: none"> ・「キラキラ星」のコード進行を覚え、英語の歌詞を覚え、弾き語り挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト
	楽典	テトラコード・調号	<ul style="list-style-type: none"> ・音階の構造について学ぶ。 ・調号の仕組みを理解し、様々な調で楽曲が作られていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・小テスト

1 2 3	日本音楽	三味線・箏・さくら さくら	・日本音楽の歴史を踏まえ、和楽器に親しむ。それぞれの楽器の構造、取り扱い方を学び、さくらさくらを演奏する。	・主体的に関わり
	ギター	ソロコンサート	・自分で楽目を決め、弾き語りを人前で発表する。	・実技テスト
	作曲	CM ソングを作ろう	・C と G のコードを使用し、自分の名前に曲をつける。	・作品提出
	ドラム	拍子・リズム	・J=60のテンポを身に付け、拍子を身体で感じ取り、リズム感を養う。	・主体的な関わり

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を、身に付け、歌唱、楽器、創作などで表している。
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体時に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

やる気があれば、必ず伸びます。自分の身体を知る事が大切です。どうすれば、美しい声が出るのか、どうすれば指がまわるようになるのか、呼吸をすること、正しい姿勢を取ることに意味があります。自分を大切にしましょう。楽器を大切にしましょう。

令和4年度 芸術科「書道Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	1年 A組～C組
教科書	書Ⅰ（教育図書）	副教材等	

1 学習の到達目標

- ・小中学校国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動をとおして、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動をとおして、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばす。
- ・書的美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化について理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	書へのいざない	書道の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の共通性と相違を理解し、書道の世界を知る。 ・用具の扱い方や、姿勢・執筆法等の基本を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への姿勢
	実用の書	硬筆の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールペンを使用して、漢字の筆順・部首名・誤字の訂正・草書の熟語・文章書き等を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
5	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・選文 ・検字 ・印稿 ・印面整備 ・布字 ・運刀 ・押印 ・補刀 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の意義と効用について学ぶ。 ・印ができあがるまでの行程を知る。 ・自分の名前を、白文・朱文で制作する。 ・篆刻の名品や各自が制作した印を鑑賞し、方寸の美を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
6	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立 ・仮名の筆づかい ・仮名の単体 ・連綿 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。 ・仮名の書に使用する用具・用材とその取り扱い方について理解する。 ・単体や連綿などの表現を学び、仮名の書特有の筆づかいや基本用筆を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
7				
9	漢字の書 ・楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の用筆法 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を楷書で書く。 ・楷書の成立と特徴を知る。 ・古典の意義や拓本について学び、臨書の仕方を理解する。 ・楷書の古典を臨書し、用筆法・運筆法について理解し、基本的な点画の表現法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢

10	・行書	・行書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を行書で書く。 ・行書の成立と特徴を知る。 ・行書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
11	・草書	・草書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を草書で書く。 ・草書の成立と特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
12			<ul style="list-style-type: none"> ・草書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。 	
1 2 3	漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名の調和	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した漢字や仮名を生かし、その表現を応用した漢字仮名交じり書の制作をする。 ・題材を自分で選択し、形式・構成を工夫する。 ・各自の作品について制作の意図を発表したり、相互批評を行ったりして、それぞれの違いや良さを鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢

3 評価の観点

知識・技能	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。
思考・判断・表現	・書の実しさや良さを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	・書の創造的活動の喜びを味わい、伝統文化に関心をもって主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

書への関心・意欲・学習態度・思考・表現等を総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の正しい扱い方を理解し、丁寧に使用してください。 ・授業に集中して積極的に取り組んでください。 ・提出物等の課題をやりきるよう心がけてください。 ・作品の善し悪しだけでなく、作品が完成するまでの過程・取り組む姿勢がとても大事なことです。

令和4年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 1年ABC組
教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)	副教材等	・アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社) ・キホンの英単語 [聞く・読む・書く・話す] らくらくドリル (実務教育出版)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解し、それに対する自分の考えを伝えるための基礎的な能力を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Warm-Up 1	・アルファベット	・アルファベットを使って単語を正確に書き発音する。	活動観察
	Warm-Up 2	・教室で使う表現	・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。	
	Warm-Up 3	・辞書の使い方 ・疑問詞	・辞書を使って単語を調べてみる。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。	
	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ	・be 動詞	・be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の名前・性格・特徴など、be 動詞を用いた基本的な表現について理解する。	
5	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ!	・一般動詞	・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の日常の行動や食べ物の好みなどを、一般動詞を用いて伝え合う。	ワークシート 小テスト
	Communication 1 自己紹介	・自己紹介	・ここまで学習したことをもとに、自己紹介の仕方を理解し、伝え合う。	
	英文のしくみ 1	・文型の理解	・「主語+動詞」「主語+動詞+補語」「主語+動詞+目的語」の文型を理解する。	
	中間考査			
6	Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん	・動詞の過去形	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。	
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物	・進行形	・進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由を整理・理解し、伝え合う。	活動観察 ワークシート
	文法のまとめ 1	・be / 一般動詞 ・否定文と疑問文 ・過去形 / 進行形	・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて、相手とコミュニケーションを図る。	小テスト
	期末考査			
9 10	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車	・助動詞 can , will	・助動詞 can , will を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・職業観の紹介、職業の意義、ある場所への行き方などについて、can や will を用いて伝え合う。	活動観察
	Communication 2 道案内	・道案内	・ここまで学習したことをもとに、地図を見ながら道案内の仕方を理解する。	ワークシート
	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	・to 不定詞 (to+動詞の原形)	・to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞を用いて伝え合う。	小テスト
	中間考査			

1 1	Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部	・動名詞 (動詞の -ing 形)	・動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・将来の夢や先週末に楽しんだことについて、考えや気持ち、情報などを伝え合う。	活動観察 ワークシート 小テスト
	英文のしくみ2 文法のまとめ2	・文型の理解 ・to 不定詞 ・動名詞 / 接続詞 ・助動詞	・主語＋動詞＋目的語＋目的語 ・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて、相手とコミュニケーションを図る。	活動観察 ワークシート 小テスト
1 2	Reading 1 Short Stories in English	・ユーモアの理解	・英語で書かれた Short Stories の内容、要点を捉えて理解する。	小テスト
	1 Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	・受け身 (be 動詞 ＋過去分詞)	・受け身を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・好きな絵の紹介とその理由について、受け身を用いて情報・考え・気持ちを伝え合う。	活動観察 ワークシート 小テスト
2	3 期末考査			

3 評価の観点

知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景にある文化などについて理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる基礎的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	・目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどを的確に理解・表現したり、伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料に基づいて abc の3段階で評価します。

- ・ 知識・技能 : 定期考査, 小テストなど
- ・ 思考・判断・表現 : 定期考査, 小テスト, レポートなど
- ・ 主体的に学習に取り組む態度: 提出物, 授業態度, パフォーマンステストなど

5 担当者からのメッセージ

◎授業について

1. 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。主体的に行動する勇気を持って参加してください。
2. NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これが BEST です。

◎評価について

1. 定期考査, 英単語テストなど
2. 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
3. 課題や提出物 (ノート・プリント) の提出状況とその内容など
4. 授業への取り組み

上記1～4を総合的に判断して評価します。評価の割合は、知識・技能については約40%、思考・判断・表現については約30%、主体的に学習に取り組む態度については約30%を目安とします。

令和4年度 園芸科・商業科「家庭総合」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科・商業科 1年 AC組
教科書	家庭総合（実教出版）	副教材等	担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 ①自立と共生 ②ライフキャリア ③共に生きる家族 ④家族に関する法律 第9章 ①消費行動と意思決定 ②消費生活の現状と課題 ③消費者の権利と責任 ④ライフスタイルと環境	◆家族 1-1 自分をみつめる 1-2 共に生きる家族 1-3 家族に関する法律 1-4 労働と生活時間 1-5 社会の変化と消費生活 1-6 消費者の権利と責任 1-7 社会保障のしくみ ◆消費者として自立する 消費行動を考える 消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活 ◆衣生活	家庭総合を学ぶにあたって ・人間形成の面での家族の基礎的役割とその重要性について理解する。 ・家族周期の意味を知り、家族の発達段階によって課題がそれぞれ相違することを理解する。 ・多様化・個性化の時代を迎え、家族をまもる法律(民法)の重要性がいちだんと増していることを理解する。 ・人の一生と法律とのかかわりおよび家族に関する法律について理解する。 ・改正案と比較しながら現行民法の問題点を考える。 ・家族・家庭に求められている諸機能とその変化について理解する。 ・家族形態の相違による家庭生活のあり方について検討し、その多様性を理解する。 ・家計管理・社会保障について理解する。 基礎縫いの練習	ワークシート 行動観察 発表 ワークシート 行動観察 発表 ワークシート 行動観察 発表
9 10 11 12	第7章 ①人と衣服のかかわり ②衣服の素材の種類と特徴 ③衣服の選択から管理まで ④持続可能な衣生活をつくる ⑤私たちがつなぐ衣生活の文化 ⑥衣服をつくろう	◆衣生活 2-1 人と衣生活のかかわり 2-2 衣服の素材の種類と特徴 2-3 衣生活の管理 2-4 被服実習	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・実験(5分間でどのくらい汗をかくのかみてみよう) ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・暮らしの中での素材衣服の性能と改善について学ぶ。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・衣服の加工技術について理解する。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。	ワークシート 行動観察 ワークシート 行動観察 発表 ワークシート 行動観察 発表 ワークシート 行動観察 エプロン

			<ul style="list-style-type: none"> ・実験（界面活性剤のはたらき） ・衣服の選択の重要性について理解する。 ・健康で快適な衣生活を営むために必要な被服材料、被服管理などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 ・環境負荷の少ない購入・管理・消費について問題意識を持つ。 ・衣服の機能と衣生活文化を理解するとともに、着想の工夫や消費行動における課題を探る。 ・個人と社会のかかわりを理解し、主体的に生活設計できる力を養う。 ・衣服製作実習を通して、材料の選択、日常の管理の方法を習得するとともに、手縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の作成ができる。 ・完成した作品をししゅうなどを施すことにより、自分らしさを表現することができる。 ・衣服実習において、製作活動に意欲的にとりくんでいる。 	<p>ワークシート</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>行動観察</p>
1 2 3	<p>第8章</p> <p>①人間と住まい</p> <p>②住まいの文化</p> <p>③住まいを計画する</p> <p>④健康に配慮した快適な室内環境</p> <p>⑤安全な住まい</p> <p>⑥持続可能な住まいづくり</p>	<p>◆住生活をつくる</p> <p>3-1 人間と住まい</p> <p>3-2 住まいの文化</p> <p>3-3 住まいを計画する</p> <p>3-4 持続可能な住まいづくり</p>	<p>衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。</p> <p>衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。</p> <p>・自分自身の衣生活の状況について関心をもち、課題を発見し、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。</p> <p>・衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。</p> <p>・衣類の購入から、衣服整理・管理、廃棄まで、実生活において計画的な衣生活を営むことができる。</p> <p>・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>行動観察</p> <p>住居実習課題</p>

3 評価の観点

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

家庭科では、人間らしい生活をするために、何をどのように食べるのか、何を着て、どう住まうのか、どのような家族や地域をつくっていくのか、そしてそれらに社会がどう関係し、地球規模での環境問題や生活課題がどうつながっているのかなどを学び、自分の生活を自分でデザインする力を付けます。

豊かで主体的な生活を送るために、まずは現在の自分の日常生活に関心をもつことから始めてください。授業では講義や実習、個人作業など様々な形態の学習活動を行います。いずれも積極的に取り組み実践力を身に付けて欲しいと思います。

令和4年度 農業科「農業と環境」シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	農業と環境（実教出版）	副教材等	トウモロコシノート、自作プリント

1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。</p> <p>(2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 1 農業・環境学習とは何か 2 農業と環境の学び方	①農業と環境の関わり ②生物を育てる学習 ③環境を調べる学習	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の農業・環境の事例の図をみながら相互の関係を理解する。 ・みずから作物を育て、栽培に関する基礎知識や調査を行う方法を身につける。 ・中学校まで学んできた学習の仕方と違うことを認識する。 ・農業学習の楽しさ・すばらしさを学ぶ。 	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート 学習ノート 行動観察
5		①プロジェクト学習 トウモロコシ栽培 ②学校農業クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業と環境」の学習法としてプロジェクト学習法が有効であることを理解する。 ・トウモロコシの特性や生育段階に応じた管理作業の手順や内容を理解する。 ・農業クラブ活動の目標や組織について知る。 ・太陽が生物活動の根源活動の根源的存在であることを認識する。 ・光合成の原理を理解する。 	ワークシート
6	第2章 1 人間と植物・動物とのかかわり	①太陽エネルギーを地球にとどめる植物 中間考査		
7				
9	3 日本の農業・農村と食糧供給	①日本の農業を支える自然環境 ②日本の農業・農村の姿 ③日本の農業生産技術の特色 ④食料の流通・消費と食品産業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業技術とそれを支える自然環境の特徴を理解する。 ・農業人口、農業経営、農地の利用形態を理解する。 ・住んでいる地域の農業の実態を考えてみる。 ・日本の生産技術の特色や近代農業生産技術の問題点とその克服。 ・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を考える。 ・ダイコンの特性や生育段階に応じた管理作業の手順や内容を理解する。 ・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を考える。 ・農業が国土や環境の保全に果たす役割を学ぶ。 ・地球環境問題を学ぶ。 ・環境を悪化させない農業の仕方を学ぶ。 	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
10		ダイコンの栽培 中間考査		ワークシート 行学習ノート 動観察
11	4 農業と国土・環境の保全	④食料の流通・消費と食品産業 ①自然生態系と農業生産 ②地球環境と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・自然生態系の回復と再生及び農業環境の整備について学ぶ。 	ワークシート ワークシート

1 2		③農業の国土・環境保全機能 ④農業・地球環境の見直し ⑤環境と調和した農業 ダイコンの栽培 農業鑑定 期末考査	・環境保全型農業について学ぶ。 ・実物を見て名称や用途を理解する。	ワークシート ワークシート 学習ノート 行動観察
1	5 農業・農村の役割	①食料の生産・供給機能 ②地域活性化の原動力 ③農業・農村の介護・福祉・教育的機能 ④文化の形成と継承 ⑤都市と農村の交流 6 これからの農業・農村	・農業・農村の持つ社会益的な機能と役割を学ぶ。 ・農村の持つ多面的な機能と役割を学ぶ。 ・農業の機能として、経済的、社会的、文化的側面を学ぶ。 ・対流、生産者と消費者の連携。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
2		①農業とエネルギー ②バイオマスエネルギーの活用 ③これからの社会と農業 ④持続可能な農業の維持と発展 ⑤私たちのなすべきこと 期末考査	・農業や農村をとりまく課題を整理し、これからの農業のあり方を考える。 ・農村のあり方について学ぶ。 ・持続可能な農業・環境保全型農業について学ぶ。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
3				ワークシート

3 評価の観点

知識・技能	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

4 評価の方法

出席状況、提出物及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。

令和4年度 園芸科 総合実習「草花」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	夏花壇用草花苗の育苗・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・サルビア ・マリーゴールド ・ニチニチソウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリポット鉢上げ用の土作りに取り組む。 ・ポリポットの土詰めに取り組む。 ・夏花壇用草花の生育と栽培管理を行う。(かん水、置肥、殺虫剤、鉢ずらし等) ・3号ポリポットに鉢上げを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習ノート ・かん水、追肥と殺虫剤の散布ができる ・花苗をポリポットに鉢上げができる ・播種ができる ・行動観察
5	ドライフラワー用草花の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・センニチコウ ・ニゲラ ・カイザイク ・カスミソウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で栽培するドライフラワー用の草花について基本的な知識を知る。 ・各種子について、セルトレイ等に播種を行う。 	
6	5 ひまわりの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の敷地で実際に販売を行い、一般の方と交流する。 ・ひまわりについて、圃場にて播種を行う。 ・ひまわりの生育と栽培管理を行う。(かん水、除草、追肥等) 	
7				

9	冬花壇用草花苗の育苗・管理	・パンジー ・ビオラ ・葉ボタン	・播種後の管理を行う。(かん水、通風等) ・冬花壇用草花の生育と栽培管理を行う。(かん水、置肥、殺虫剤、鉢ずらし等) ・冬花壇用草花苗の良い苗と悪い苗の判別について理解する。 ・草花の圃場において、環境整備を行う。(除草、耕うん、堆肥散布等) ・滑河駅前の花壇に、パンジー、ビオラ、葉ボタン等の花苗を植える。 ・体育館前の円形花壇に、パンジー、ビオラ、葉ボタン等の花苗を植える。	・実習ノート 行動観察 ・農具の取扱いができる 花壇の植栽ができる 行動観察 ・販売実習ができる
10	滑河駅前花壇の植栽			
11	体育館前円形花壇の植栽			
12				
1	草花の生産施設・設備について	・サルビア ・マリーゴールド ・ニチニチソウ	・環境制御温室、天窓、側窓の自動開閉について理解する。 ・暖房設備、温湯、電熱線、自動かん水について知る。 ・花壇用草花苗の用土作りを行う。赤土、腐葉土、堆肥の特徴や性質を理解することができる。 ・播種ができるように準備ができる。 ・播種後の管理を行う。(かん水、通風等)	・土作りができる 行動観察 ・播種の準備ができる 実習ノート 行動観察
2	花壇用草花苗の生産準備			
3				

3 評価の観点

知識・技能	農業の各分野における総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。 栽培と飼育、環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、総合的な技術を身に付けている。 栽培と飼育、環境等の基礎的な知識と技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる能力を身に付けている。
思考・判断・表現	農業の各分野に関する総合的な知識と技術や経営と管理の手法に関する課題を発見する能力を身に付けている。 農業生産工程管理（GAP）に関する必要な知識と技術を習得し、経営や管理における必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の各分野における自らの職業生活について考え、農業の総合的な知識や技術、経営や管理などを理解し、実習内容の記録について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 学校農業クラブの諸活動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

4 評価の方法

出席状況、実習手帳提出及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・始めと終わりの挨拶がしっかりできるようにして下さい。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し参加して下さい。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、実習ノートに記入して下さい。
- ・定期的に実習ノートを提出して下さい。
- ・担当者の指示に従い、安全に配慮して行動して下さい。
- ・集合時間に遅れないようにして下さい。
- ・農具等を使用した場合は、元の場所に返却して下さい。
- ・販売実習の時は、高校生としての言動、態度に十分注意して下さい。
- ・校内農業実物鑑定競技試験は、実習の評価に繋がります。しっかり学習して高得点を目指して下さい。
- ・総合実習は、定期考査がないので、実習中における出席及び取り組み等で評価します。

令和4年度 農業科「総合実習（果樹）」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	果樹（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	果樹の栽培技術	(1) ナシの摘蕾	ナシの受粉・開花特性を理解する。	出席状況。 服装教具の準備 授業態度 行動観察 作業結果 ノート記載内容
5		(2) ネット張り	ナシネット設置の意味を理解し、病虫害・気象災害防除の大切さを理解する。	行動観察 ノート記載内容
6		(3) ナシの摘果	ナシの着果特性と摘果の目的を学習し、摘果法を理解する。	行動観察 ノート記載内容
7		(4) ウメの収穫と調整	ウメの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	行動観察 ノート記載内容
		(5) 袋掛け	袋掛けの意味を学習し、果実に対する市場での評価を理解する。	行動観察 ノート記載内容
9	果樹の栽培技術	(6) ナシ・クリの収穫と調整	ナシの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	出席状況。 服装教具の準備 授業態度 行動観察 作業結果 ノート記載内容
10				
11		(7) ナシの病虫害対策	落葉片付け（埋設）及び粗皮削り	行動観察 ノート記載内容
12				

1	果樹の栽培技術	(8) 剪定	ナシ・ウメ・キウイフルーツ・ブドウの剪定方法を学習する。	出席状況
2				服装教具の準備
3				授業態度 行動観察 作業結果 ノート記載内容
				行動観察 ノート記載内容

3 評価の観点

知識・技能	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

4 評価の方法

出席状況、実習手帳提出及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。

令和4年度 農業科「総合実習（野菜）」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	トウモロコシ・カボチャの栽培	野菜類の育苗技術	農具の使用・管理方法を学ぶ。 育苗上の注意を学ぶ。 苗の管理技術を学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
5		露地栽培における果菜類の栽培	トンネル被覆による効果を学ぶ。	
6			カボチャの定植を行う。 整枝を行う。 誘引を行う。	
7				
9 10	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における葉菜類の栽培 露地栽培における根菜類の栽培	育苗トレイを使用し、ブロッコリー・レタスのは種を行う。 かん水を行う。 トンネルの開閉、温室窓の開閉による温度調整技術を学ぶ。 定植を行う。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 ダイコンのは種を行う。 ハウレンソウのは種を行う。 病害虫防除の方法について学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認

1 1	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における根菜類の栽培	ブロッコリーを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 レタスを収穫し、計量・調整を行う 品質保持技術について学ぶ。 ホウレンソウを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ダイコンを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
1 2				
1 2 3	土壌について 野菜の育苗	土壌の種類・性質 野菜類の育苗技術	土壌消毒を行う。 病害虫対策の方法を学ぶ。 雑草対策の方法を学ぶ。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 土質・土の性状 肥料配合を行う。 施肥技術について学ぶ。 マルチングを行う。 セル成形苗を育苗する。 播種を行う。 ポリポットの種類・使用方法について学ぶ。 鉢上げを行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 意見発表会原稿評価で代替

3 評価の観点

知識・技能	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

4 評価の方法

出席状況、実習手帳提出及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行われます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。

令和4年度 園芸科「農業と情報」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	農業と情報 (実教出版)	副教材等	ビジネス文書実務検定試験模擬問題集 3級

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる物として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的活共同的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 私たちの生活と農業の 情報化	1. 情報社会における 私たちの生活	情報の意義と役割を理解する。インターネットと情報社会の役割を理解する。	メディアリテラシーが理解できたかを確認
5		2. 情報とメディア 3. 情報社会とモラル	メディアリテラシー理解する。 情報社会の光と影がわかる。 SNSの機能を理解する。 個人情報の取り扱いと知的財産権の保護を理解する。	情報社会のモラルを守る心がまえ情報社会の危険への対応のしかたを身につけられたか確認
5	第2章 社会を支えるコンピ ュータ	4. 農業を支える情報	農業における情報の役割を理解する。 情報活用による農業の発展を創造し、データ活用による新しい農業を理解する。 学校農場において、情報利用ができる事を理解する。	情報通信ネットワークの概要、しくみと特徴が理解できたか確認
6		1. コンピュータの仕 組み	ハードウェア、ソフトウェアの仕組みを理解する。 コンピュータで処理される情報を理解する。 2進法と情報量、データや情報の種類を理解する。	農業による情報の役割を理解できたか確認。 農業のデータ活用の必要性が理解できたか確認。
6	第3章 コミュニケーション と情報デザイン	2. データや情報の表 現		ハードウェアとソフトウェアの違いが理解できたか確認。
7		1. 情報表現のための ソフトウェア	文書作成ソフトウェアの特徴と機能を理解する。文書作成ソフトウェアの基本操作を修得する。	ワープロソフトに主体的に取り組むことができるかを確認
7		2. 文章の作成と表現	Wordを活用し、キーボードを利用した文字の入力実習を通して、ワープロの利用方法とキーボード操作を習得する。 繰り返しの文書作成問題の実習を通して、文書作成の速度と正確さを高める。 期末考査	速度問題に積極的に取り組むことができているかを姿勢と入力データで確認 Word機能を理解し、文書を作成することができるかを入力データと提出物で確認
9			1学期同様にWordを使用し学習をする。 Wordを活用し、キーボードを利用した文字の入力実習を通して、ワープロの利用方法とキーボード操作を習得する。	ワープロソフトに主体的に取り組むことができるかを確認 速度問題に積極的に取り組むことができているかを姿勢と入力データで確認

10	2. 日本語ワードプロセッサの利用	1. ワードプロセッサの利用 (p50～59)	10分間で速度問題の入力を繰り返し実施する。入力文字数を Excel に記録し保存する。 繰り返しの入力実習を通して、キーボード操作の習得を着実にすすめ、速度と正確さを高める。 文書作成に必要な機能と利用方法を理解する。 文書作成問題に取り組み作成に必要な技術の習得をする。 文書作成問題の入力を繰り返し行うことで、入力速度と正確さを高める。	速度問題に取り組み、的確に印刷し、提出することができるかを提出物で確認 速度問題に取り組み、速度が向上し、正確に入力することができるかを入力データと提出物で確認 Word 機能を理解し、文書を作成することができるかを入力データと提出物で確認 文書作成問題の実習を通して、利用方法が理解できたかを確認 毎回の文書作成問題に取り組み、速度が向上し、正確に入力することができるかを確認
11				
12		期末考査		
1	1. 日本語ワードプロセッサの利用	1. ワードプロセッサの利用	速度問題の入力を繰り返し行うことで、入力速度と正確さを高める。 入力文字数を Excel に記録し保存する。	速度問題に取り組み、的確に印刷し、提出することができるかを提出物で確認
2	2. 表計算ソフトウェアの利用	2. 表計算ソフトウェアの基礎と編集機能	表計算ソフトウェアの特徴と機能及び活用方法を理解する。	表計算ソフトウェア (Excel) への関心が高まり、文字と数値を正確に入力することができるかを入力データと提出物で確認
3		期末考査		

3 評価の観点

知識・技能	多様で大量の情報と情報技術が産業社会や人間に与える影響などを考察し、情報の意義や役割を体系的に理解し、情報技術や情報通信ネットワークの活用、その仕組みや効果について、農業情報及び環境情報に関する体系的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	学校の実習や産業現場での体験を通して、目的や条件に合わせて各種の情報の価値を判断し、情報通信ネットワークを活用した情報の収集・分析・統合・加工・発信などの方法や手法を選択できるとともに、成果を効果的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	進展する情報社会の特徴や仕組みに関心を持ち、その仕組みや効果について体系的に取り組むとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査素点、3観点 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)、出席点を総合的に評価する。

【評価の観点】

- ・情報社会でのモラルやソフトウェアの利用について知識及び技能の習得状況について評価する。(知識・技能)
- ・情報に関する既有的知識・技能と関連づけをし、活用する事ができるか評価する。(知識・技能)
- ・情報に関する知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか評価する。(思考・判断・表現)
- ・文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアを活用し、作品制作や表現等の多様な活用ができるか評価する。(思考・判断・表現)
- ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自ら調整しながら学ぼうとしているか評価する。
(主体的に学習に取り組む態度)

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・パソコンを使う演習中心の科目です。機器類を丁寧に扱い、室内を常に清潔にしてください。
- ・移動教室なので集合時間を厳守してください。

令和4年度 自動車科「工業技術基礎」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 1年B組
教科書	工業技術基礎 (実教出版)	副教材等	担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を育成する。

工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各専門分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、工業に関する広い視野と倫理観をもって工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。

2 学習の計画

ローテ	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	2グループ2ローテーションとして実施			
	1-1 測定実習 (機械検査)			
	①ノギス測定	測定実習 (機械検査) ・ノギスのスケッチ ・ノギスの構造 ・ノギスの測定方法	測定機器の取扱いおよび測定法を理解する。 各測定機器のスケッチを行い構造を理解する。 ・ノギス ・マイクロメータ ・ダイヤルゲージ ・シリンダゲージ	学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
	②マイクロメータ測定	・マイクロメータのスケッチ ・マイクロメータの構造 ・マイクロメータの測定方法	自動車部品の測定をとおして、測定方法を理解する。	筆記・実技試験・作品 製作・実習報告書 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
	③ダイヤルゲージ測定	・ダイヤルゲージのスケッチ ・ダイヤルゲージの構造 ・ダイヤルゲージの測定方法	測定部品：ピストン、クランク軸、カム軸等を測定し、値のまとめ方や値の精度および補正の方法について理解する。	
	④シリンダゲージ測定	・シリンダゲージのスケッチ ・シリンダゲージの構造 ・シリンダゲージの測定方法		
	⑤測定試験	実技試験	実技試験により測定技術を理解する。	
	⑥実習報告書	実習報告書作成	学習したことを実習報告書にまとめ測定方法について理解を深める。	
	1-2 測定実習 (電気測定)			
	①電気一般	・直流と交流 ・オームの法則	電気に関する基礎的な知識を学習する。	
	②サキッテスタによる測定	・サキッテスタの各部名称 ・測定レンジの選定方法 ・適切な測定方法 ・測定実習	サキッテスタの正しい取扱および目盛りの読み方を理解する。 電子部品および電気回路を利用し、電圧・電流・抵抗等の測定方法を理解する。	
	③自動車電装実習	・配線図記号 ・リレーの役割 ・スイッチのパターン図の作成 ・配線図の作成	配線図記号とリレーについて学習し、測定を通して灯火回路を理解して配線図を作成する。	
	④その他の電気測定器具を用いた測定	・デジタルサキッテスタを使った測定 ・デジタルクランプメータを使った測定	アナログ式サキッテスタ以外の測定器具の使用手法や利点を理解して、実際に測定が出来る。	
	⑤筆記・実技試験	・筆記、実技試験	試験により測定技術・配線技術を理解し、習熟を図る。	

	⑥実習報告書	・実習報告書作成	学習したことを実習報告書にまとめ電気測定および配線技術について理解を深める。
2	2-1 機械工作実習 (文鎮の製作)		
	①安全作業	作業に取り組む態度	文鎮の製作をとおして金属加工の基礎を学習する。 各工作機械の特徴を理解し、安全作業に関する知識を理解する。
	①けがき作業	けがき作業 ・寸法測定 ・けがき	トコソによる寸法測定およびけがき線の引き方を理解する。
	②手仕上げ作業	手仕上げ作業 ・やすりがけ ・ネジ加工	鉄鋼ヤスリによる手仕上げ加工の技術を理解する。ヤスリの種類・用途を理解する。 タップ・ダイスによる、ねじ切りについて理解する。
	③金属加工	金属加工 ・旋盤作業 ・フライス盤作業 ・ボール盤作業	旋盤による円筒切削について理解する。 フライス盤による平面切削について理解する。 卓上ボール盤による穴加工について理解する。
	⑤実習報告書	実習報告書作成	学習したことを実習報告書にまとめ金属加工法について確認する。
	2-2 溶接実習		
	①安全作業	・安全教育	アーク溶接・ガス溶接・MIG溶接の基本的な知識・技術を習得する。
	②アーク溶接	・アーク溶接 ・MIG溶接 ・溶接方法	アーク溶接・ガス溶接の特徴を理解し、安全作業に関する知識を理解する。 アーク溶接の原理と安定したアークの発生のさせ方および溶接方法を理解する。
	③ガス溶接	・ガスの特性 ・中性炎の作り方 ・溶接方法	ガス溶接の原理と着火方法および安定したビードの引き方および溶接方法を理解する。
	④作品製作	突き合わせ溶接	アーク溶接・ガス溶接の溶接課題を行い溶接技術の習熟を図る。
	⑤実習報告書	実習報告書作成	溶接法について学んだことを実習報告書にまとめ溶接法について確認する。

3 評価の観点

知識・技能	工業技術に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、安全や環境も配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。また、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として創造的に適切に判断し表現する能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	工業技術に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

<p>工業技術基礎の各パートで実施する実習・実験に対する取り組む姿勢や、実習報告書・作品等の提出物または試験（口頭・実技・筆記）から【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を総合的に判断し評価する。</p> <p>ただし、評価においては全パートを通して判断するため、特定のパートにおいて実習報告書・作品等が未提出、または試験に不合格の場合は欠点とする。</p> <p>また試験は定期考査と関係なく各パートの終了時に行うこととする。</p>

5 担当者からのメッセージ

<p>工業技術基礎は、工業に関する学習の最も基礎となる実技科目です。本授業では、服装指導を含め事故を起こさないための安全教育や、「ものづくり」の基本である測定（機械検査・電気計測）や金属加工（機械工作・溶接）の実技を中心に体験学習します。</p> <p>10人を1グループとして実習が展開され1年ですべてを学習します。危険を伴う作業もあるので、担当の教員の説明をよく聞き、行動することが大切です。また、作品提出や報告書提出、口頭試問等があり、計画的に取り組む必要があります。</p>

令和4年度 自動車科「実習」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 1年B組
教科書	実習（実教出版）	副教材等	基礎自動車整備作業／基礎自動車工学 （社団法人日本自動車整備振興会連合会出版） 担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

工業の各分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。また、協力・責任・勤労など整備士として望ましい態度や習慣を身につける。

2 学習の計画

ローテ	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	2グループ2ローテーションとして実施			
	1-1 自動車点検	<ul style="list-style-type: none"> ①タイヤ概要 <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤ表記の意味を学ぶ ・タイヤトラブルについて学ぶ ②ジャッキアップとタイヤ交換 <ul style="list-style-type: none"> ・パンタグラフジャッキおよびガレージジャッキを使ったジャッキアップ手順を学び、タイヤ交換をする ・タイヤの空気圧の調整方法を学ぶ ③タイヤの脱着 <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤチェンジャーの操作手順を学び、タイヤの脱着を行う ④ホイールバランス調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ホイールバランスの操作手順を学び、ホイールのバランスを測定・調整する ⑤灯火装置の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・灯火装置の名称および運転席での操作方法を学ぶ ⑥運転席での点検 <ul style="list-style-type: none"> ・計器類と警告灯の各部名称および意味を学び、エンジン始動後の点検方法を学ぶ ⑦エンジンルームの点検 <ul style="list-style-type: none"> ・エンジンルームの液体類の名称および点検方法を学ぶ ⑧実習報告書および実技試験 <ul style="list-style-type: none"> ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 筆記・実技試験・作品 製作・実習報告書 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 	
	1-2 自動車整備	<ul style="list-style-type: none"> ①工具の名称と取り扱い <ul style="list-style-type: none"> ・正しい工具の取り扱いを理解し、安全に作業することを学ぶ ②フロントサスペンションの脱着作業 <ul style="list-style-type: none"> ・フロントサスペンションを脱着、分解、スケッチし各部品の名称と役割を理解し正しく整備を行うことを学ぶ ③フロントブレーキの脱着作業 <ul style="list-style-type: none"> ・フロントブレーキを脱着、分解、スケッチし各部品の名称と役割を理解し正しく整備を行うことを学ぶ ④リアブレーキの脱着作業 <ul style="list-style-type: none"> ・リアブレーキを脱着、分解、スケッチし各部品の名称と役割を理解し正しく整備を行うことを学ぶ ⑤ブレーキ液の交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキ液の役割を理解し、正しく交換することを学ぶ ⑥実習報告書および実技テスト <ul style="list-style-type: none"> ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する 		

2	2-1 自動車制御	①自動車制御の特徴とコンピュータについて ②自動車制御プログラム1（出力） ③自動車制御プログラム2（入力・条件分岐・時間） ④旋回制御プログラム1（旋回理論） ⑤旋回制御プログラム2（運転制御） ⑥旋回制御プログラム3（自動運転） ⑦実習報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ制御 ・電子制御の速度応答性 ・プログラミング言語 ・LEDの点滅制御 ・繰り返し制御 ・音階制御 ・条件分岐 ・各種入力 ・タイマー ・自動車の動作と制御 ・自動車の運転制御 ・自動車の自動運転 ・実習報告書の作成を通して理解を深め、学習内容を確認する
	2-2 自動車材料	①自動車材料の特徴 ②材料の機械要素 ③自動車部品材料 ④金属材料試験 ⑤金属材料の熱処理 ⑥実習報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車に使われている材料を調べ部品ごとの特徴を学ぶ ・金属材料の機械的性質を理解する ・ねじの破断実験を行い構造や性質を理解し、金属の弾性変形、塑性変形を理解する ・万能試験機を用いて引張り試験を行い引張り強さの機械的性質を比較する ・シャルピー衝撃試験機を用いて金属の粘り強さの機械的性質を比較する ・電気炉を使用し、金属に熱処理を行い、機械的性質がどう変化するかを学ぶ ・実習報告書の作成を通して理解を深め、学習内容を確認する

3 評価の観点

知識・技能	工業技術に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、安全や環境も配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。また、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として創造的に適切に判断し表現する能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	工業技術に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

<p>各パートで実施する実習・実験に対する取り組む姿勢や、実習報告書・作品等の提出物または試験（口頭・実技・筆記）から【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を総合的に判断し評価する。</p> <p>ただし、評価においては全パートを通して判断するため、特定のパートにおいて実習報告書・作品等が未提出、または試験に不合格の場合は欠点とする。</p> <p>また試験は定期考査と関係なく各パートの終了時に行うこととする。</p>
--

5 担当者からのメッセージ

<p>実習の授業では危険な作業が多くあります。安全作業を心がけ取り組んで下さい。また先生の指示を良く聞き、メモやノートを取る習慣をつけましょう。実習報告書は期限を守り提出しましょう。</p>

令和4年度 自動車科「工業情報数理」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 1年B組
教科書	工業情報数理（実教出版）	副教材等	基礎自動車工学（社団法人日本自動車整備振興会連合会） 担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数里処理に必要な資質・能力を育成することを目指す。

この科目は1・2学年で履修を行う。1学年時では数理処理に必要な資質・能力を育成することを目指し、2学年時では情報処理に必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1 基礎的な数理	1面積・体積	面積・体積などの数理処理の方法について基礎的な事項を学ぶ。	学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 確認小テスト 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 練習問題 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
5		2身近な工業事象	速さと時間、電圧と電流の関係についてグラフを用いて表す。	
5	2 単位と数値処理	3高さと三角比	直角三角形を用いて三角比を学び大きな構造物の高さ測定する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】
6		1国際単位系(SI)	国際単位系であるSI単位及び組立単位について学習する。	
6		2単位の換算 ①速さ ②加速度 ③重力加速度	単位の換算を通して、速さと加速度、重力加速度を理解し実際の事象に活用できるように学ぶ。	
6		中間考査		中間考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ノート提出 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
6		④密度と質量 ⑤力と仕事 ⑥エネルギー ⑦温度	単位の換算を通して、密度と質量、圧力、力、仕事エネルギー、温度を理解し表現して、実際の事象に活用できるように学ぶ。	
7		期末考査		期末考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
9	3 乗り物の数理	1速さと速度 ①ベクトル	身近な乗り物を題材とし、速度をベクトルとして表現することを学ぶ。	学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 確認小テスト 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 練習問題 【知識・技能】
10		②走行時の仕事と動力	乗り物が走行するときに必要となるエネルギーについて理解し求めることを学ぶ。	
10		2電車の走行と円運動 ①直線運動	等加速運動や等速度運動を理解し、乗り物の実際の走行状態を学ぶ	

1 1	5 数値処理とグラフ	中間考査		中間考査 【知識・技能】
1 2		3動力の伝達 ①力とトルク ②力の伝達 ③自転車を走らせる力 まとめ・演習	力とトルクについて理解し、その計算方法を学ぶ。 歯車やチェーンによる力の伝達について理解し、その計算方法を学ぶ。 自転車をを用いてペダルの踏力から得られる推進力を求める事を学ぶ。	学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 確認小テスト 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 練習問題 【知識・技能】
		1測定値の有効数字とその取扱い方 2実験結果のグラフ化 期末考査	測定器から得られた値を用いて誤差、誤差率、有効数字について学ぶ。 実験データのグラフ化の方法を学び、グラフが意味する内容を読み取る力を身に付ける。	ノート提出 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 期末考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
1	6 流れの数理	1流れの基礎 ①流れの生じる原因	水と電気と熱の流れの共通点を学ぶ。	学習活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】
2		②流れの分岐と合流 2流体の流れ ①流体の圧力 ②流れとエネルギー	水と電気と熱の流れについての関係を学ぶ。 圧力の伝ばを理解する。	確認小テスト 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 練習問題 【知識・技能】
3		3電気の流れ 4熱の流れ 学年末考査	オームの法則を理解し、回路の電流や電圧や抵抗を求める。 電気抵抗が直列または並列接続された回路の計算を学ぶ。 熱と仕事について理解する。熱の流れと熱伝導を理解させ、熱流束や熱抵抗の計算をする。	ノート提出 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 学年末考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】

3 評価の観点

知識・技能	数理処理に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、安全や環境も配慮し、その技術を適切に活用している。また、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	数理処理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として創造的に適切に判断し表現する能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	数理処理に関する諸課題について関心を持ち、改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

定期考査の成績、小テストの成績、ノート提出、課題提出、授業態度等から【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を総合的に判断して評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

情報工業数理は、教科書の最後に載っている部分を重点的に行い、さまざまな工業事象を、数学・物理・化学で学んだ基礎知識を用いて数理処理することを学ぶ科目です。また、自動車整備を学んでいく中で必ず必要となる知識を身に付けることができます。授業を理解するために中学校で習った数学や理科の内容をしっかりと復習しましょう。教科書は工業情報数理（実教出版）を使用する。

令和4年度 自動車科「自動車工学」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 1年B組
教科書	自動車工学 (実教出版)	副教材等	基礎自動車工学, 3級自動車ガソリンエンジン, 3級自動車シャシ ((社) 日本自動車整備振興会連合会)

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、安全で安心な自動車の提供に必要な資質・能力を育成する。

自動車整備士養成施設として、3級自動車ガソリン整備士および3級自動車シャシ整備士試験の学科試験に対応できるように、自動車の構造・機能及理解し、計算問題に対応できる計算力を身につける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	基礎自動車工学	第1章 自動車の概要	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の分類を学ぶ。 	学習活動の観察 <small>【主体的に学習に取り組む態度】</small> 【知識・技能】
5		第2章 自動車の構造	<ul style="list-style-type: none"> エンジンの原理 (ガソリン・ディーゼル) を学ぶ。 (電子制御装置の基本を理解する。) (自動車から排出される有害ガスの浄化方法を理解する) ステアリング装置を学ぶ。 ホイール及びタイヤを学ぶ。 ホイールアライメントを学ぶ。 ブレーキ装置を学ぶ。 (ドラムブレーキ, ディスクブレーキの構造を理解する。) (制動倍力装置を理解する。) 灯火装置を学ぶ。 (道路運送車両法で示された名称を理解する。) 	確認小テスト <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small> 練習問題 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small> ノート提出 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small>
6		中間考査		中間考査 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small>
7		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 動力伝達装置 (クラッチ・トランスミッション・ファイナルギア & ディファレンシャル) を学ぶ。 アクスル及びサスペンション (車軸式・独立懸架式) を学ぶ。 (トランスミッション及びファイナルギアに関してはトルク・変速比の計算ができる。)(ディファレンシャルにおける左右輪の回転差を計算できる。) 	期末考査 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small>
9		第3章 自動車の材料	<ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼 (鋳鉄・鋼の違い, 熱処理) を理解する。 非鉄金属 (銅, アルミ, 亜鉛, 錫の合金) を理解する。 焼結合金を理解する。 非金属 (ゴム, ガラス, 合成樹脂, 複合材) を理解する。 塗料, 塗装の基本を理解する。 	学習活動の観察 <small>【主体的に学習に取り組む態度】</small> 【知識・技能】
10		第4章 自動車の機械要素	<ul style="list-style-type: none"> ねじ (ねじの呼び, ビス, 割ピン, ワッシャ) を理解する。 スプリング (自動車に使用される6種類) を理解する。 ベアリング (プレーン, ローリング, ラジアル, スラスト) を理解する。 ギヤ (自動車に使用される8種類) を理解する。 ベルト・チェーン・リンク機構・カム機構を理解する。 	確認小テスト <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small> 練習問題 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small> ノート提出 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small>
11		中間考査		中間考査 <small>【知識・技能】</small> <small>【思考・判断・表現】</small>

1 2		第5章 燃料及び潤滑剤 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 燃料（ガソリン・軽油・LPガス）を理解する。 潤滑剤（オイル・グリース）とその作用働きを理解する。 	期末考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
1	3級自動車 ガソリン	第1章総論	<ul style="list-style-type: none"> 内燃機関の分類（作動、燃焼、点火、着火、燃料の種類、供給方法、冷却、バルブ機構、シリンダ数及び配置）を理解する。 	学習活動の観察 <small>【主体的に学習に取り組む態度】</small> 【知識・技能】
2		第2章エンジン 本体	<ul style="list-style-type: none"> エンジンの構造機能及び整備の基本を理解する。 	確認小テスト 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
3		第3章潤滑装置	<ul style="list-style-type: none"> オイルの循環、ピストンの冷却、オイルポンプを理解する。 	練習問題 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
		第4章冷却装置	<ul style="list-style-type: none"> ウォーターポンプ、ラジエータ、サーモスタット、ファン、不凍液を理解する。 	ノート提出 【知識・技能】 【思考・判断・表現】
		学年末考査		学年末考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】

3 評価の観点

知識・技能	自動車に関する基礎知識と技術を実際の整備実習に応用できる能力を身につけている。 整備士試験の学科試験に対応できる知識を身につけている。
思考・判断・表現	高度に電子制御化された自動車関連社会に問題を見だし、探求する。導き出した考えを表現でき、的確な判断で実際の実習・整備に取り組める能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	自動車の構造に興味・関心を持ち主体的に学習に取り組む態度を身に付け、実習との関連を図る。新たな課題などに、意欲的に資格取得に努めようとするとともに、電子制御化された交通社会に対応できる能力を身につけている。

4 評価の方法

定期考査の成績、小テストの成績、ノート提出、課題提出、授業態度等から【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を総合的に判断して評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

自動車の構造を単純に暗記していくのではなく、なぜそのような構造になるのかを考えながら理解していくと知識が固まって全体が理解できるようになってくる。興味を持った事柄は、授業以外のところでもことん調べましょう。情報があふれる時代です。調べれば調べるほど理解が進んでいき更に興味が深まります。授業の前に予習をするのは当然のことです。そして、授業を聞いて納得し授業の後で復習すれば確実に力がついてきます。地道な努力が求められます。

令和4年度 商業科「ビジネス基礎」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 1年C組
教科書	ビジネス基礎 (実教出版)	副教材等	商業経済検定模擬試験問題集3級 (実教出版)

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として飛鳥な基礎的な資質・能力を育成する。

- (1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 商業の学習とビジネス	1. いざ、ビジネスの世界へ	・ 商業を学ぶ重要性和と学び方、ビジネスの概要について理解します。	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート
5		2. 私たちの社会とビジネス	・ ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学習します。	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート
		中間考査		単元小テスト 考査得点
6	第2章 ビジネスとコミュニケーション	1. コミュニケーション	・ ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学習します。	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート
		2. ビジネスマナー	・ ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付けます。	
		3. 情報の入手と活用	・ 企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行います。	
7	第3章 経済と流通の基礎	1. 経済の仕組みとビジネス	・ 経済の仕組みと流通の必要性について理解します。	単元小テスト 発言内容 ノート・プリント 振り返りシート
		2. 経済活動と流通	・ 経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考えます。	
7		期末考査		単元小テスト 考査得点
9	第4章 さまざまなビジネス	1. ビジネスの種類	・ ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学習します。	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート
10		2. 小売業	・ 小売業者の種類、小売業者のもつ社会的な役割について学習します。	
		3. 卸売業	・ 卸売業者の種類や役割、機能について学習します。	
		4. 金融業	・ 金融業者の役割、金融機関の種類、代表的な金融機関のビジネスについて、その基本的な業務や仕組みなどを学習します。	
		5. 情報通信業	・ 情報通信業者の役割、種類について学習します。	
		中間考査		単元小テスト 考査得点

1 1	第5章 企業活動の基礎	1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動の形態と組織について学習します。 ・マーケティングの重要性と流れについて学習します。 ・ビジネスに必要な資金の意味を理解し、各種の資金調達の方法、とくに社債の発行と株式の発行による資金調達を学習します。 ・財務諸表とその役割について学習します。 ・企業にかかわる税についての概略を学習します。 ・雇用の意義や特徴、現状について、各種のキーワードを用いて理解します。 	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート 単元小テスト
1 2	第6章 ビジネスと売買取引	1. 売買取引の手順 2. 代金決済 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・売買取引における内容や代金決済の決め方、売買取引に必要な書類などについて学習します。 ・現金、小切手、約束手形、銀行振込と口座振替、キャッシュレス決済の基本的な事項について学習します。 	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート 単元小テスト 考査得点
1	第7章 ビジネス計算	1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・割合の表し方、基準量と比較量、割増および割引の計算について学習します ・度量衡、貨幣換算の意味を理解し、換算に関する問題練習をします。 	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート 単元小テスト
2	第8章 身近な地域のビジネス	1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな地域の魅力と課題を学習し、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えます。 ・地域ビジネスの動向について学習します。 	発言内容 ノート・プリント 振り返りシート 単元小テスト
3		期末考査		考査得点

3 評価の観点

知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決できるよう考えている。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

この科目は、商業における学習の基礎となるもので、将来の社会生活に必要な経済の一般常識となることも多く含まれます。社会人として約束や期限を守ることや、マナーに関することがらをしっかりと身につけてほしいと思います。

令和4年度 商業科「情報処理」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	情報処理科 1年C組
教科書	最新情報処理（実教出版）	副教材等	情報処理検定模擬問題集2級, 3級（実教出版） ビジネス文書実務検定模擬問題集2級, 3級（実教出版）

1 学習の到達目標

- ・ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得し、情報の意義や役割について理解する。
- ・ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
- ・検定に合格できる知識と技術を習得する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 企業活動と情報処理	1節 情報処理の重要性 2節 情報モラルと法規 3節 コミュニケーションと情報デザイン	・情報の意義と役割について学ぶ。 ・情報モラルについて学ぶ。 ・情報デザインについての技術を身につける。	学習態度
5	4章 ビジネス文書の作成	1節 ビジネス文書と表現 2節 基本文書の作成	・文書の役割や種類について理解する。 ・ワープロ操作を身につける。	実習状況・提出物
		中間考査		考査得点
6	3章 情報の集計と分析	1節 ビジネスと統計 2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフの作成	・情報を分析し、把握する能力を身につける。 ・基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表を作成する技術を身につける。 ・グラフの種類と特徴、グラフの作成方法を学ぶ。	学習態度
7		4節 情報の整列・検索・抽出 5節 問題の発見と解決の方法	・表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。 ・アルゴリズム等について理解する。 ビジネス文書実務検定合格を目指す。	実習状況・提出物
		期末考査		考査得点
9	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	1節 コンピュータシステムの概要 2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 3節 インターネットの活用 4節 情報セキュリティの確保	・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、これらを活用する基本的な技術を身に付ける。 ・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について理解する。 ・電子メールの利用方法、情報化社会における、個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について理解する。 情報処理検定合格を目指す。	学習態度
10				実習状況・提出物
		中間考査		考査得点

1 1	4章 ビジネス文書の作成	3節 応用文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。 <p>ビジネス文書実務検定合格を目指す。</p>	<p>学習態度</p> <p>実習状況・提出物</p>
1 2	5章 プレゼンテーション	1節 プレゼンテーションの技法	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。 	<p>期末考査</p> <p>考査得点</p>
1	5章 プレゼンテーション	2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解する。 プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。 <p>情報処理検定合格を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種ソフトウェアを適切に活用し、様々な報告書や文書を作成、または発表する。 	<p>学習態度</p> <p>実習状況・提出物</p>
2	総合演習			
3				<p>期末考査</p> <p>考査得点</p>

3 評価の観点

知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

説明をしっかりと聞き、その後、自分で考えながら問題を解いていくようにして下さい。分からないところは、そのままにしないで質問をするようにして下さい。実習をしっかりとやることによって、理解が深まることにつながります。

令和4年度 情報処理科「簿記」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	情報処理 科 1年C組
教科書	新簿記（実況出版）	副教材等	最新段階式 簿記検定問題集3級

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2)取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3)企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
4	第1編 簿記の基礎	第1章 簿記の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解する。 ・簿記の種類、前提条件など簿記のアウトラインを理解し、簿記の学習の心がまえを養う。 	簿記の基礎について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。		
5		第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解する。 			
6		第3章 収益・費用と損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解する。 			
7		第4章 取引と勘定	<ul style="list-style-type: none"> ・取引により、資産・負債・資本が増減することを理解する。 			
		第5章 仕訳と転記	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳ができる。 			
		第6章 仕訳帳と総勘定元帳	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳帳の形式・記入法を理解し、記帳することができる。 			
		第7章 試算表	<ul style="list-style-type: none"> ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方を学習する。 			
		中間考査				簿記の取引や記帳について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。
		第8章 精算表	<ul style="list-style-type: none"> ・精算表の役割を明らかにして、その作り方を学習する。 		考査得点	
		第9章 決算	<ul style="list-style-type: none"> ・決算の意味・必要性・重要性について理解する。 ・決算手続き全体の流れを理解し、その記帳ができる。（英米式決算法） 			
	第10章 現金・預金などの取引	<ul style="list-style-type: none"> ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解する。 ・現金過不足の処理法を理解する。 				
		期末考査		考査得点		
9	第2編 取引の記帳（その1）	第11章 商品売買の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解する。 ・仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳ができる。 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解する。 	簿記の3文法について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。		
10		第12章 掛け取引	<ul style="list-style-type: none"> ・人名勘定の意味を理解する。 ・手形の種類を理解する。 			
11		第13章 手形の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解する。 			
12	第3編 決算（その1）	第14章 その他の債権・債務の取引		簿記の決算について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。		
		中間考査			考査得点	

		<p>第15章 固定資産の取引</p> <p>第16章 個人企業の資本の取引</p> <p>第17章 販売費と一般管理費、税金の取引</p> <p>第18章 決算整理（その1）</p> <p>第19章 8桁精算表</p> <p>第20章 帳簿決算</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解する。 ・個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解する。 ・販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解する。 ・個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解する。 ・決算整理の意味とその必要性を理解する。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解し、その記帳ができる。 ・8桁精算表の意味を理解し、その作成ができる。 ・帳簿決算の意味とその必要性を理解する。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成ができる。 	考査得点
1 2 3	<p>第4編 会計帳簿と帳簿組織</p> <p>第5編 取引の記帳（その2）</p>	<p>第22章 伝票の利用</p> <p>第24章 特殊な手形の取引</p> <p>第25章 有価証券の取引</p> <p>第26章 本支店会計</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。 ・手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解する。 ・支店会計の独立の意味を理解する。 	<p>簿記の3伝票や手形、本支店について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。</p> <p>考査得点</p>

3 評価の観点

知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

授業を大切にすること。課題や宿題などの提出物は期日を守り提出すること。